

がつ えきがいichiyū か そし
7月 JR 駅外 注化阻止を

せんそうぜつたいはんたい まんにん いか そしき せんそう かいけん あべ たお
戦争絶対反対の 1000 万人の怒り組織し戦争・改憲の安倍を倒せ

たたか どうろうそうれんごうけんせつ
ゼネスト闘う動労総連合建設へ

がつなのか とうきょう ひび やこうかいどう ろうどうしやじ こかいほう
6月 7日、東京・日比谷公会堂は労働者自己解放のエネルギーであふれた。

けつしゅう にん たたか なかま かた だんかつ しどうぶ
結集した 1650 人の闘う仲間たちは、固く団結し、ゼネスト指導部となり、

あべ せいけん だとう かくめい き ひら けつい とう
ゼネストで安倍政権を打倒し、プロレタリア革命を切り開くのだという決意と闘

しこくてつとうそうぜんこくうんどうだいしゅうかい かんどうできせいこう
志をみなぎらせた。この国鉄闘争全国運動大集会の感動的成功は、2010 年ねん

だいちゅう き かいきゅうけつせん あら だんかい お あ せんこく どうろうそうれんごう もうぜん
代中期階級決戦を新たな段階に押し上げた。いよいよ全国に動労総連合を猛然

けんせつ かいきゅうてきろうどううんどう たたか せきにんせいりょく とうじょう とき こくてつけつせん
と建設し、階級的労働運動が闘う責任勢力として登場する時だ。国鉄決戦は

がつ えきせんめんがいちゅう か だいげきとつ とつにゆう ろうどうしや てんせき くび
7月 JR 駅全面外注化との大激突に突入する。これは JR の労働者の転籍・首

き ちんさ だいこうげき どうろう ちば せんとう ぜんりょく はんげき そし どうじ
切り・賃下げの大攻撃だ。動労千葉を先頭に全力で反撃し阻止しよう。同時に

あんぼ せんそうほあんそし せんがくれん せんとう こつかいほう いとうそう た がつ
安保・戦争法案阻止へ、全学連を先頭に 6・15 国会包囲闘争に立とう。6~8 月

あんぼ こつかいとうそう みんしゅろうそう れんたいだいしゅうかい せんそう かいけんそし
の安保国会闘争、6・28 民主労総ゼネスト連帶大集会、7・5 戦争・改憲阻止

しゅうかい たたか
集会へ闘おう。

えきせんめんがいちゅう か てんせき くびき ちんさ こうげき
駅全面外注化は「転籍」と首切り・賃下げ攻撃

しゅうかい れきし できせいこう ちへい ひ つ ただ がつ えき
6・7 集会の歴史的成功の地平を引き継ぎ、直ちに JR の 7 月 (~ 10 月) 駅

せんめんがいちゅう か そし そくつき どうじ どうろうそうれんごうけんせつ どうろうとうきょう けんせつ
全面外注化阻止に総決起し、同時に動労総連合建設とりわけ動労東京の建設に

とく
取り組もう。

がいちゅう か こうげき こうぼう さいだい げきとつ がつ せま
JR 外注化攻撃との攻防はこれからだ。その最大の激突は 7 月に迫っている。

ひがし にほん えきせんめんがいちゅう か ちば ちばてつどう げきとつ
JR 東日本の駅全面外注化は、千葉では CTS (千葉鉄道サービス) での激突

として火蓋が切られている。1年間で千葉支社管内で 15 駅が C T S に丸投げ外注化され、63 駅に拡大されている。7月1日には C T S の駅業務が「JR 東日本ステーションサービス」(J E S S) なる別会社に集約、再編・分割される。この次には構内・検修部門が「JR 東日本運輸サービス」(J E T S) に再編されるのだ。

J R 東日本の外注化と出向の拡大がついに「転籍」に行き着いた。グループ事業再編のもとで、現在、鉄道サービス社員として駅業務を行っている労働者が転籍にさらされている。すでに C T S プロパー社員の J E S S への転籍が通告されている。全面外注化とは分社化であり、転籍か首切り、さらには非正規職化、賃下げの大攻撃である。何よりも労働組合を全面的に解体するとんでもない攻撃である。

J E S S は、5月に「管理体制の変更について」なる文書で、高崎、水戸、千葉の「各鉄道サービスの駅業務が移管されるにあたり」として、首都圏エリアの駅業務委託を J E S S に集約する、すなわち駅の全面外注化を分社化・転籍として強行すると言明した。それを7月1日に開始しようとしているのだ。

この首都圏エリアと東京での駅外注化・分社化・転籍攻撃は、J R の「大量退職時代」の危機ゆえに仕掛けてきている第2の分割・民営化攻撃の本格的発動であり、すさまじい安全破壊もこれから全面化していく。

こうした J R 全面外注化は、動労千葉・動労水戸一動労総連合の解体を先端とする国鉄労働運動解体、団結破壊の攻撃だ。同時にこれは、日帝・安倍=葛西=桜井よしこらによる連合解体・反動的大再編の攻撃であり、労働組合を戦争・改憲と徴兵制を推進する産業報国会に変質させ動員する攻撃でもある。

7・1 外注化阻止の闘いは、まさに J R = 国鉄に闘う労働組合をつくる闘

い、動労総連合建設の闘いそのものだ。動労総連合建設を進め、JR7月駅全
面外注化阻止に決起し、ゼネスト情勢を切り開こう。日帝・安倍の戦争・改憲
攻撃を根底から打ち破ろう。

6・7大集会の成功を全労働者人民のものに

以上の確認の上に6・7集会の歴史的意義を打ち固め、6～8月へ進撃しよう。

第一に、6・7集会は、大恐慌の激化・深化と新自由主義の破滅的危機の中
で、国鉄決戦を基軸とする階級的労働運動の本格的爆発とゼネスト実現へ、重要
な突破口を開いた。韓国・民主労総ゼネストと沖縄全島ゼネスト情勢を、国鉄
決戦の爆発を通して全世界的に拡大していく展望が鮮明に示された。

2010年代中期階級決戦は、ゼネストでプロレタリア革命の扉を押し開
く壮大な闘いだ。それは国鉄決戦に体現される「絶対反対」「階級的団結」の闘
いによって必ず切り開かれる。

第二に、現下のゼネスト情勢は、国鉄分割・民営化絶対反対で闘い抜いた動
労千葉労働運動が10年「4・9政治和解」と根底的に対決し、国鉄闘争全国運動
を生み出し、5年間の決起で日帝・安倍=葛西と全面的に激突して切り開いた地
平だ。同時に、3・11に対する動労水戸の被曝労働拒否の決起は、今や「常磐
線全線開通」策動という大反動との階級決戦を引き寄せ、原発労働者の怒り、
帰還強制=福島圧殺への根底的怒りと固く結合している。10万筆署名達成の地平
から、国鉄闘争全国運動を労働者階級の闘う責任勢力として全面的に発展さ
せよう。

第三に、6・7集会をもって動労総連合建設のうなりをあげた前進が始まつた。動労総連合建設はゼネストとゼネスト指導部をつくり、生存権すら否定され続けてきた青年労働者を結集する闘いだ。それは合同・一般労組全国協の建設や4大産別決戦の飛躍的前進を切り開き、何よりも地区党建設と一体で前進するきわめて価値創造的な意義もつ闘いである。

さらに6・7集会は、群馬弾圧、「街(まち)」弾圧、権力の極悪スパイと化し階級的労働運動への憎悪と敵対をあらわにする反革命脱党分子らの策動といふ、この間の「5月反動」に階級的断を下し、粉碎した。

第四に、6・7集会は、民主労総ゼネストとの国際連帯集会として大成功した。「民営化と闘う日韓鉄道労働者共同声明」が全世界に発せられ、「新自由主義という怪物を打ち倒す国境や産別をこえた労働者の固い団結をつくりあげたい」と願い……この呼びかけを発することを決断した」「全世界の労働者の力を一つにつなげよう」とうたい上げられたことは、ゼネスト綱領として画期的である。

とりわけ23日間のストへの空前の処分・弾圧を打ち破り、第2次ゼネストに向かう韓国鉄道労組の闘いは、国鉄分割・民営化と闘い粉碎してきた動労千葉・動労水戸の闘いと一つであり、まさにこの熱い連帯からプロレタリア革命が切り開かれるのだ。

第五に、6・7集会は、6~8月の安保国会決戦、戦争法案粉碎の戦後史上最大の階級決戦の決定の一環をなす大集会だった。

ゼネストを闘う階級的労働組合、動労総連合を建設することこそ、安倍の戦争・改憲攻撃を打ち破る闘いだ。連合会長・古賀の辞任表明、改憲・徴兵制推進のUAゼンセンを押し出した連合の解体・再編=産業報国会化の策動——。解

こ てつかい まんびつしょめい たっせい すい ろ げきとつ どうろうそうれんごうけんせつ すす
雇撤回 10 万筆署名の達成を水路にこれと激突し、動労総連合建設を進めること
あ べ か さい さくらい つうげき ふんさい ろうどうしゃ しょうり みち
こそが、安倍＝葛西＝桜井らを痛撃し粉碎して、労働者が勝利する道である。
こくてつけっせん ばくはつ あ べ だとう せんそうほうあん ぜつたい ほうむ
国鉄決戦の爆発とゼネストで安倍を打倒し、戦争法案を絶対に葬ろう。

お こ 追い込まれてグラグラの安倍は絶対に倒せる

あん ぼ せんそうほうあん きょうこう あせ あ べ ぎやく だ きゅう ち お こ
安保＝戦争法案の強行を焦る安倍は、逆にボロを出し窮地に追い込まれて
しゅういんけんぼうしん さ かい さんこうにん にん けんぼうがくしやぜんいん じ こうすいせん ふく あん
いる。衆院憲法審査会で参考人の3人の憲法学者全員が（自公推薦も含め）安
ほ かんれんほうあん い けん ひ はん だい だ げき う あ べ せいけん ここの か
保関連法案を「違憲」と批判し、これに大打撃を受けた安倍政権は9日、あわ
てて「反論」の政府見解を出した。だがこれは昨年の7・1閣議決定の論拠とし
て「72年政府見解」を繰り返すものでしかなく、事態は再び「7・1」の原点
かい き さいこうさい すながわはんかつ も だ しうだんてき じ えいけん ごうけん
に回帰した。最高裁の「砂川判決」を持ち出してもそれは「集団的自衛権は合憲」
みと はず
と認めたものではなく、ピント外れた。

かく ぎ けってい あん ぼ かんれんほうあん ねら だいきょうこう せんそう てん か じょうせいか
7・1閣議決定＝安保関連法案の狙いは、大恐慌が戦争に転化する情勢下で、
にてい じ えい へい わ し えん そんりつき き じ たい さけ ぜつぼううべき しんりやくせんそう ていこくしゅ
日帝が「自衛」「平和支援」「存立危機事態」を呼び絶望的に侵略戦争・帝国主
ぎ せんそう ろうどうしやかいきゅう せんそうぜつたいはんたい い がい
義戦争をやるということだ。労働者階級にとっては「戦争絶対反対」以外にな
い。

ごうけん けんぼうがくしや かんぼうちょうかん すが ほうりつ けんぼう あ
「合憲という憲法学者もたくさんいる」（官房長官・菅）、「法律に憲法を合
わせる」（防衛大臣・中谷）。こうしたとんでもないウソとペテンで、安倍政権
ほ けつ ほ じ えい けん ようにん じ えい たい は へい よう けん
はいよいよ墓穴を掘っている。だが「自衛権」を容認し、自衛隊の「派兵要件」
ついきゅう や と う せんそうぜつたいはんたい た たか に つ て い あ べ ぜんめんたいけつ
などだけを追及してきた野党も、戦争絶対反対で闘えず、日帝・安倍と全面対決
きんじょう
できない惨状だ。
ろうどうしやかいきゅう げきりん ふ じんみん いか わ た
「7・1」は労働者階級の逆鱗（げきりん）に触れた。人民の怒りは沸き立

っている。ゼネストを求めている。^{もと}戦争と改憲の安倍への怒りを爆発させ、戦争法案を絶対に阻止しよう。^{せんそうはんたい}戦争反対・改憲阻止の 1000 万人署名に取り組もう。^{まんにんしょめい}安倍を打倒しよう。

6・15 国会包囲大闘争と、6・14(午後 2 時～3 時 30 分)～6・24(午後 6 時 30 分～8 時) 国会包囲行動、6・28 民主労総ゼネスト連帶大集会、7・5 戦争・改憲阻止大集会&デモに連続的に総決起しよう。